

仕場のほしいを、どんどんそろえる。



ソロエルアリーナは、オフィス用品通販アスクルが提供する、インターネットを使って簡単・便利に購買業務を効率化いただけるサービスです。会社の各部署個別の購買をソロエルアリーナのサイト上で集約して運用いただくことにより、購買プロセスを「見える化」し、発注者様・管理者様の購買業務にかかる時間と手間を削減します。

サプライヤ紹介



企業にとってもはや必要不可欠といえるのが業務のIT化に伴う情報ツールの活用です。PCはもちろん、最近はスマートフォンやタブレットPCを活用して業務効率の向上をはかる企業も急速に増加しているようです。

ソロエルアリーナは、業種別の専門商品だけでなく、企業のIT化を支える周辺アイテムも数多く取り揃えています。今回ご紹介するエレコム株式会社は、PC周辺機器において幅広いラインナップを取り揃えていることに加え、スマートフォンやタブレットPCなど最新の情報ツールの使い勝手をさらによくする周辺アイテムをいち早く開発、提供しています。

企業紹介

企業理念「人と機器をつなぐもの」－マンマシン・インターフェース－

エレコム株式会社は、家業が製材業だったという葉田順治社長が、1986年にスチール製のPCデスクを製造・販売するOA家具メーカーとして大阪市都島区に設立したことが始まりです。

葉田社長が、それまで木製で重いものが主流だったPCラックを、軽くデザイン性の高いスチール製に変えることを思い立ち発売したところ、たちまち人気商品となりました。会社設立の翌年にはフロッピーディスクケースの販売開始によりOAアクセサリ分野にも事業を広げたのに続き、マウスやキーボードなど様々な周辺機器も取り扱うようになりました。

「Windows 95、Windows 98が登場したときには、それに合わせた様々な周辺機器を開発し、USBが出てきたときもいち早く取り組んで商品化してきました。」と、特販第1支店を統括されている金森智史(かなもりさとし)氏は説明します。

その後、PC関連商品だけでなく、お客様の広がりとともに取り扱い分野を広げ、2006年にはヘッドホンの販売でAV関連にも参入。また、デジタルカメラまわりの製品などデジタル機器のアクセサリも取り扱うようになっていきます。

さらに最近はスマートフォン関連の周辺機器にも注力していて、同社の大きな柱のひとつになっています。

「製品開発における当社の企業理念に“マンマシン・インターフェース”というものがあります。これは、PC本体など主役になるものを手がけるのではなく、“人と機器をつなぐもの”、つまりその周りのすべての製品を扱うということです。この理念に基づいて様々な分野の周辺機器に取り扱いを広げた結果、現在では取扱商品が7,000アイテムのものになります。」(金森氏)



商品ラインナップ・開発ストーリー

スマートフォンやタブレットPC向けの開発が加速中

業務を効率化する情報ツールとして、

スマートフォンやタブレットPCを導入する企業が増えています。

しかし、勝手よく操作できるまでに時間がかかる、バッテリーの持続時間が短いなど、導入当初に課題を感じている人も多いようです。

エレコム株式会社は、こうした状況をビジネスチャンスと捉え、現在はスマートフォン向けの周辺機器に力を入れ、大きく成長しています。



キー投影型Bluetooth(R)ワイヤレス英語配列キーボード
TK-PBL042シリーズ

「当社では、スマートフォンが市場に出てきた当初から注目し、周辺機器の開発に取り組んでいます。特に開発当初は、スマートフォンはバッテリーの減りが早いという声が多かったため、モバイルバッテリーなどの充電器を発売しました。」



また、これらの情報ツールを使って業務連絡などの長文を送信するケースも増えていますが、タッチパットによる文字入力に慣れるまで時間がかかります。これでは効率が悪いということで、従来どおりの入力方法で行うことができる外付けのキーボードの需要がこれから増えていくと見ています。」(金森氏)

同社では、こうした需要に対応するため、様々なキーボードを開発、販売しています。商品開発部の佐伯氏は、「2010年8月にスマートフォン用のアプリケーションを独自に開発し、無線でキーボードが使える製品をいち早く市場に投入し、ご好評をいただきました。」と説明します。

「現在では、据え置き型、折りたたみ型、スマートフォンケース一体型などに加え、卓上にキーボードを表示するキー投影型など、用途やビジネスシーンに応じて選ぶことができる幅広いラインナップを実現しています。また、スマートフォンをスタンドに立てて使える製品ならば、1台のキーボードでPCにも接続して使うことができ便利です。さらに今年の夏には、近距離無線通信の国際規格であるNFCという規格を使い、特別なセッティングをまったく必要とせず置いてだけで入力ができる世界で初めてのキーボードを発売する予定です。」(佐伯氏)



iPhone 4/4Sケース一体型キーボード
TK-FBI033シリーズ

周辺機器という、一見脇役のような存在にも思われる製品でありながら、デザインにもこだわりを持っているのが同社の特徴です。



佐伯氏は、「当初は周辺機器のデザインはシンプルでいかにも事務機というものがほとんどでしたが、PCが普及しだしたころに周辺機器をもっと一般の方に楽しく使っていただけるようにと考え、デザインに注力し始めました。」と語ります。

「たとえばマウスでもカラーバリエーションを増やしたり、動物などをデザインしたものを商品化してきました。ちいさな豆をモチーフにしたキュートなレーザーマウスは、さまざまな操作環境でスムーズな操作を実現します。」

また、女性向けのPCバックが世の中にほとんどなくて、社内の女性も紙袋にPCを入れて持ち歩いていたのを見て「なんかないかな」と考えて作ったのがモバイルPCを“別持ち”できる『オトナBetsumo』というPCバックです。私は今でも愛用していますよ。」

生産・グローバル

“まずやる”企業文化が最短2ヶ月での製品化を実現

デジタル機器の市場は技術が日進月歩であり、製品サイクルも非常に早いのが特徴です。そのため、現場ではスピーディーな製品開発が要求されます。

商品開発部の藤原氏は「市場の動向を見ながら反射神経のように製品を出していくことが重要です。製品によっては企画から出荷まで2ヶ月ほどというスピードで商品化することもあります。その間は徹夜になることもしばしばですが(笑)」と語ります。

同社では、製品開発は国内、生産は主に中国で行っていますが、両者の密接な連携のもとにプロジェクトを進め、時には1日何十通ものメールのやり取りを行いながら生産にこぎつけます。



(左から)商品開発部・藤原氏
商品開発部・佐伯氏

こうしたスピーディーな製品開発が実現できる背景として、金森氏は「当社では開発も営業も“まずやる”という企業文化が根付いています。ですから、製品サイクルが早いものにも対応できるだけの姿勢で取り組みますし、それぞれ

の部署が責任をもって素早く対応する体制が確立しているのです。」と説明します。

お客様へのメッセージ

ひろがる。深まる。エレコムフィールド。

佐伯氏は、「どうしてもデジタル機器と人には使いやすさという点でギャップがあり、入力の面倒さなどで犠牲となっている部分があります。『こうしたギャップをうめて使いやすいものにしてあげたい』という意気込みで周辺機器を開発しています。」と、同社の商品に込めた想いを語ります。

金森氏は、「商品を発売して、お客様から『使いづらい』などの意見をいただくと、すぐに開発に報告して改良をリクエストします。また、コールセンターに寄せられるお客様のご意見もダイレクトに開発に伝わる体制なので、こうしたご意見を反映した製品を出しやすい環境にあります。また、関西企業のせいか、“面白い”“人を楽しませたい”という価値観が根付いていて、それがお客様にご支持いただける製品の提供につながっているのかもしれませんが。」と説明し、最後にソロエルアリーナのお客様に対するメッセージとして、こう付け加えました。

「これからも皆様のビジネスシーンで役立つ周辺機器をどんどん開発し、ご提供していきたいと考えています。そのためにもぜひご意見をお寄せください!」



オフィスエントランス

プロフィール



社名：	エレコム株式会社
住所：	本社/〒541-8765 大阪市中央区伏見町4丁目1番1号 明治安田生命大阪御堂筋ビル9F
社長：	葉田 順治
設立：	1986（昭和61）年5月
従業員数：	417名（その他、契約社員・パート社員232名/2012年3月31日現在）
事業内容：	パソコン及びデジタル機器関連製品の開発、製造、販売



ソロエルアリーナのパソコン/PCパーツ/PC周辺機器

ソロエルアリーナでは、今回ご紹介したPCやスマートフォンの周辺アイテムを始めとするIT関連製品で約2,700アイテムを取り揃えております。

ソロエルアリーナをご利用のお客様は、その充実の品揃えから、使用目的、希望の仕様に合わせてコレ！といった商品を自由に探してご購入いただけます。

一方で、会社が購入を推奨する商品を指定したり、購入実績のデータから無駄な購入がないかをチェックする機能も備え、ムダのない購買によるコスト削減も実現します。

掲載の情報は2012年7月2日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

ASKUL